

平成29年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業			整理番号	— —
				担当課係	産業振興課 企業振興・商工港湾担当
事業予算費目	款	7	商工費	記入者職・氏名	
	項	1	商工費	内線等	426
	目	2	商工業振興費	事業区分	臨時事業
	大事業	8	地域おこし協力隊事業	事業期間	平成 年 ～ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	地域おこし協力隊推進要綱				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

小松島市の人口は、現在減少傾向にあり地域の担い手である若者が不足しつつある。このため、商工観光振興、農林水産振興の各分野で「地域おこし協力隊」による活動支援を実施する。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	商工観光振興、農林水産振興の各分野で「地域おこし協力隊」の活動支援を実施する。 具体的には、放置竹林対策のひとつとして「竹灯籠」を作成しイベントへ出品するなどし、問題啓発や地域の賑わいづくりへの貢献、地域のお祭りや行事への参加、農作業等の手伝い等することによるコミュニティの活性化、フェイスブックやホームページにおける本市の魅力発信等に取り組む。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	人口減少や高齢化の進行が進む地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに答えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする。

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	7. 活気あふれるまちづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	③ 未来への活力を育むまちづくり
			中項目	7-2観光交流によるにぎわい創出
			小項目	移住・定住促進に向けた情報発信
(理由)				
地域おこし協力隊は、都市部の人材を地域の新たな担い手として受け入れ、任期中は市内に移住することが前提となります。また、任期中は商工・観光振興や農林水産振興など総合計画で掲げた各分野での活動に取り組む事になるので総合計画との整合性が図られている。				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

現在、多くの市町村で導入されている事業であり、各市町村がそれぞれの地域課題をテーマに実施するものである。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有)・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	市民等
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	市内の地域コミュニティと地域外からきた若者が、祭りや行事で共に深く関わり、その地域が抱える課題や悩みを住民と一緒に考えることにより、新しい視点による取り組みを探ることができる。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	地域全体で支え続けてきた行事や清掃等も、人口減少・転出等により継続が難しくなっている。特に若者の減少は著しく、そこに都市部の人材が地域おこし協力隊として参加する事は、地域コミュニティの活性化に繋がっているとの声がある。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか)
	地域おこし協力隊は、どのような地域課題でも設定が可能であり、全国に広がっている。小松島市においても、どのような行政分野でも活用ができるものとする。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

			全体計画	29年度	30年度	31年度	32年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0	0					
		地 方 債	0	0					
		その他(利用者負担等)	0	0					
		一 般 財 源	12,000	12,000					
	関連事業費	A 直接事業費(千円)	12,000	12,000	0	0	0	0	
		人件費	正 規 職 員 数	0.50 人	0.50 人	人	人	人	人
			職 員 人 件 費 ①	3,252	3,252				
			臨 時・嘱 託 職 員 数	0.00 人	0.00 人	人	人	人	人
			臨 時・嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ②	0	0				
		B 人件費計(千円) ①+②	3,252	3,252	0	0	0	0	
A + B		15,252	15,252	0	0	0	0		
有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	現在、櫛淵エリアにおいて放置竹林対策やお祭り等、地域でのコミュニティに深く関わりを持ち、活動しているので、今後も新たな取り組みを含め期待値は大きい。					
		a <input type="checkbox"/> ない							
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input type="checkbox"/> できない	理由	地域おこし協力隊が起点となって、新たな事業が生まれる可能性もあり、観光分野等で既存事業と合わせて実施できる可能性も秘めている。					
		a <input checked="" type="checkbox"/> できる							
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input type="checkbox"/> ない	理由	地域住民との繋がりのなかで、地域が活気付くきっかけとなり新たな取り組みが生まれる可能性を秘めている。					
		a <input checked="" type="checkbox"/> ある							
◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。									
有効性	①								
	②	竹灯籠は、徳島市内のホテルや空港への展示等活動の幅が広がっているので、市内イベントでの積極的な活用。							
	③	地域おこし協力隊が、地域に入り込むことによって、コミュニティの活動が活性化して新たな取り組みに繋がる可能性がある。							
所属長による総合的なコメント									
今回の地域おこし協力隊は、本市で初めて採用した事業であり各隊員の努力により地域の賑わいづくりに貢献して頂いている。今後は、地域おこし協力隊の活動と行政における各事業との関係を深めていく必要がある。									